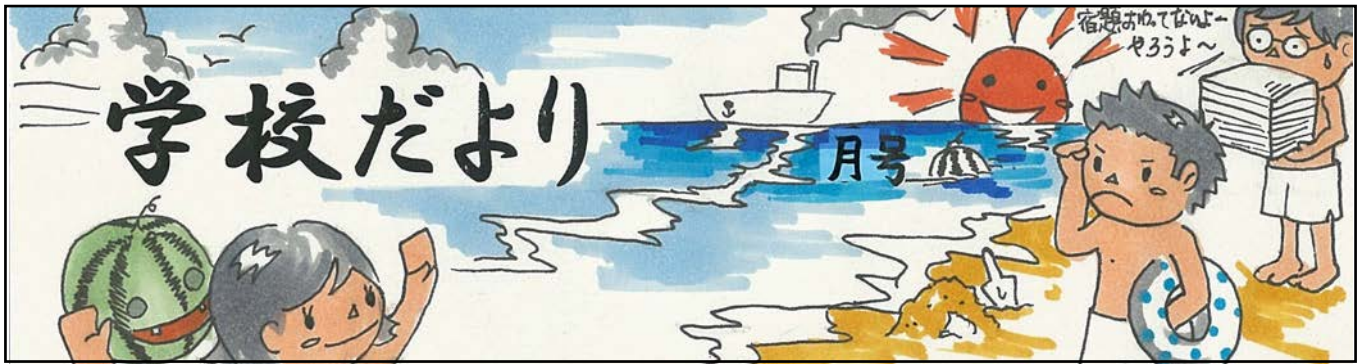


令和2年7月28日（火曜日）



横浜市立山内中学校 横浜市青葉区美しが丘五丁目4番地

045(901)0030

## 5つの誓い

校長 石崎 一敏

学校が再開して、2ヶ月がたちます。1年生は中学校生活に慣れた頃だと思います。部活動も始まり本来の学校の姿に戻りつつあります。しかし、早いもので、もう夏休みに入ろうとしています。

さて、皆さんは「口・耳・目・手足・心」を何のために使っていますか？

腰塚勇人さんという方の話をします。

腰塚さんは中学校の先生をしていたある日、スキーの事故で首の骨を折る大けがをしてみました。一命は取りとめましたが、首から下は全く動きませんでした。腰塚さんは体が動かないという現実から、毎日死ぬことばかり考えていました。そんな腰塚さんに生きる勇気と元気を与えてくれたのは、周りの方の温かい応援と励ましでした。

「何があっても、ずっと一緒にいるから」と言ってくれる奥さん、「代われるものなら、代わってあげたい」と言うお母さん、「先生、待っているから」と回復を信じ、激励してくれる仲間と生徒たちがいました。

腰塚さんはこうした方々の深い愛情に包まれながら、「これからはいつも笑顔で、どんなことにも『ありがとう』を言おう」と誓います。

その後、激しい困難なりハビリに取り組んだ結果、ついに四ヶ月後、現場復帰を果たすまで回復しました。現場復帰にあたって腰塚さんは「5つの誓い」を立てました。

- 口は人を励ます言葉や感謝のために使う
- 耳は人の言葉を最後まで聞いてあげるために使う
- 目は人のよいところを見るために使う
- 手足は人を助けるために使う
- 心は人の痛みがわかるために使う

皆さんはどう感じましたか？

生徒の皆さんが、周りの人たちへの思いやりの心をもって、夏休みや今後の学校生活を送ってくれることを願います。

# 生徒指導係より

いよいよ夏休みが始まります。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の影響で16日間の休業となります。

先日、個人面談のときに生徒指導部より「夏休みを迎えるにあたって」というプリントをお渡ししました。夏休みの過ごし方についての注意事項が書かれておりますので、是非お読みください。特に夏休みは開放的になり、色々な事件や事故に巻き込まれやすい時でもあります。その間の過ごし方次第で、子どもたちのこれからの学校生活が決定するといっても過言ではありません。ご家庭で休校期間中同様に夏季休業期間も、子どもたちと是非ふれあいの機会をもっていただければと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

夏休みの生活のポイントとなる点を幾つか確認させていただきます。

## (1)生活面

### ①不審者に出会ったとき

ア、近所の家(あるいは、こども 110 番の家)に助けを求める。

イ、とにかく、何かあったらすぐ 110 番する。

### ②外出時

ア、目的、行先、同行者、帰宅予定時間を家の人に知らせる。

イ、海水浴・キャンプ・旅行・ゲームセンター・カラオケボックスなどには保護者同伴で行く。

## (2)健康面

①規則正しい生活(早寝・早起き、適度な運動)をする。

②虫歯・眼疾などの治療を行う。

## (3)学習面

自分に合った計画を立てて学習を進める。

ア、今まで、習ったところを繰り返して復習する。

イ、特に 3 年生は、進路決定のため、できるだけ高校訪問を行う。



## 8月・9月の主な行事予定

8/17(月) 放送集会

8/17(月)～8/20(木) 教育相談

8/26(水) 3年読み聞かせの会

9/1(火) 防災訓練

9/2(水)～9/4(金) 前期期末試験

9/15(火) 体育祭

9/28(月) 生徒会役員選挙